第68回日本電気泳動学会総会

会 期： 平成29年11月24日（金）～25日（土）
会 場： 広島大学 霞キャンパス 広仁会館
主 催： 日本電気泳動学会
後 援： 日本プロテオーム学会

セッション1：Phos-tag SDS-PAGE が拓くタンパク質リン酸化解析

1）Phos-tag わーるど！ ～Phos-tag が拓く電気泳動の未来～　木村 弥生
2）複雑怪奇なリン酸化タンパク質タウの Phos-tag 解析　木村 妙子
3）Phos-tag などのリン酸化プロテオミクス技術による疾患原因キナーゼの機能解析　小迫 英尊
4）オートファジータンパク質群の動的相互作用と分子集合形態の解析　山本 林
5）Phos-tag: 生化学的および細胞内タンパク質のリン酸化解析のため最適ツール　澤崎 達也

セッション2：新しい臨床検査と電気泳動の活用法

1）エクソソームを標的とした新しい臨床検査　植田 幸嗣
2）血清・血漿中の Native Peptide 分析　小寺 義男
3）血清蛋白分画検査を院内で実施する意義　井本 真由美
4）クリオグロブリンの解析 -付加価値のある検査コメントを目指して-　山田 俊幸
5）臨床検査室で手軽に電気泳動・ウエスタンブロット　ハウリー 亜紀

バイオインダストリーセミナー

1）金属配位結合を利用したプロテオミクス
講 師： 小池 透（広島大学）
主 催： 和光純薬工業(株)

2）エレクトロスプレーイオン化ー電子移動解離タンデム質量分析法のメカニズムと Phos-tag を利用したリン酸化ペプチド分析への応用
講 師： 浅川 大樹（産業技術総合研究所）
主 催：（株)ナード研究所＆マナック(株)

セッション3：電気泳動法を基盤とする多発性骨髄腫の臨床と研究の進歩

1）電気泳動法を基盤とする多発性骨髄腫の臨床と研究の進歩 ～はじめに～　安井 寛
2）多発性骨髄腫 臨床の現場から　麻奥 英毅
3）多発性骨髄腫 基礎研究からのアプローチ　黒田 芳明
4）多発性骨髄腫の腫瘍起源異常Ｂリンパ球の解明にむけて　坂井 晃

セッション4：電気泳動によるタンパク質複合体の解析

1）ブルーネイティブ電気泳動を用いたミトコンドリア膜透過装置複合体の解析　山野 晃史
2）ブルーネイティブ電気泳動によるミトコンドリア呼吸鎖複合体の解析　池田 和博
3）ブルーネイティブ電気泳動による時計タンパク質 KaiC の動的構造解析　寺内 一姫
4）ブルーネイティブ電気泳動を用いた光合成生物タンパク質複合体の網羅的解析　高林 厚史
5）密度勾配遠心分離と SDS ゲル電気泳動を用いた分泌膜小胞結合タンパク質の解析　松田 幹

セッション5：電気泳動法を用いた悪性腫瘍の診断や予後予測，治療効果予測への応用

1）肺癌における細胞膜タンパク質同定と血清診断マーカーとしての有用性の検討　柳田 憲吾
2）免疫組織化学染色によるがん化学療法の感受性予測　鴨志田 伸吾
3）各種プロテオーム手法で獲得したマーカーの非小細胞性肺癌における術後補助化学療法への応用　佐藤 雄一
4）軟部肉腫の浸潤性予測バイオマーカー開発のためのプロテオーム解析　菊田 一貴
5）希少がんのプロテオーム解析　近藤 格

セッション6：MALDI biotyping の新展開

1）MALDI biotyping の臨床応用　曽川 一幸
2）清涼飲料製造における MALDI-TOF-MS を利用した微生物同定　青山 冬樹
3）MALDI-TOF MS を用いた細菌同定受託検査の現状　森田 華子
4）MALDI-TOF MS による微生物分析ー同定を超えた最新技術　松山 由美子
5）MALDI biotyping の農業分野への応用　梶原 英之

総 会 長：木下 英司
第 68 回日本電気泳動学会総会事務局
〒734-8553 広島市 南区 霞 1-2-3 広島大学大学院 医歯薬保健学研究科
医薬分子機能科学研究室：木下 恵美子
E-mail: 68th-meeting@jes1950.jp Tel&Fax：082-257-5281